日本史籍講読5C－Ⅱ

科目ナンバリング　JPH-226
選択必修　　2単位

宮川　麻紀

1. 授業の概要（ねらい）

本講義では、日本古代史の史料を読解できるようになるため、まずはその前提となる漢文法を学ぶ。その上で、平安時代の歴史書『日本後紀』をテキストとして精読していく。受講者は順番に発表者となり、『日本後紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物説明を書いたプリントを作り、発表する。 また、その解釈や背景にある歴史的事項について、発表者以外も含めて全員で討議する。なお、『日本後紀』以外の様々な飛鳥・奈良・平安時代の史料も紹介し、その場で輪読することがある。

2. 授業の到達目標

①古代史料の読解力を習得する。
②日本古代史について幅広い知識を会得する。
③辞書や参考文献を用いて、自身の力で調べることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

（1）発表、授業への参加度　50%（到達目標①～③）
（2）日本後紀に関する中間・期末レポート　50%（到達目標①と②）

4. 教科書・参考文献

教科書
黒板勝美　　新訂増補国史大系『日本後紀』　吉川弘文館
参考文献
森田悌・黒板伸夫　訳注日本史料『日本後紀』　集英社

5. 準備学修の内容

・発表者はあらかじめ、『日本後紀』の書き下し文と現代語訳、語句・人物説明を記したプリントを作る。
・分からない漢字や熟語は『大漢和辞典』や『日本国語大事典』で、歴史用語の意味や意義は『国史大辞典』で調べておく。
・レポートに備えて、参考文献を読む。

6. その他履修上の注意事項

日本古代史の基本的な知識は、『日本の時代史』や『大学でまなぶ日本の歴史』（いずれも吉川弘文館）などの通史の本から習得しておいてほしい。

7. 授業内容

【第1回】　オリエンテーション
・『日本後紀』についての解説
・授業の進め方や評価方法の説明、発表順の決定
・『日本の時代史』『大学でまなぶ日本の歴史』から課題を出す
【第2回】　漢文の読み方の実践と日本古代史の知識習得
・課題の発表
・漢文の読み方の基本的な事項について、発問と解説
・実際に『日本後紀』を読む
【第3回】　日本後紀の発表①
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第4回】　日本後紀の発表②
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第5回】　日本後紀の発表③
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第6回】　日本後紀の発表④
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第7回】　日本後紀の発表⑤
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第8回】　日本後紀の発表⑥
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第9回】　中間レポート提出・添削、史料輪読
・日本古代史のレポートを書く練習をする
【第10回】　日本後紀の発表⑦
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第11回】　日本後紀の発表⑧
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第12回】　日本後紀の発表⑨
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第13回】　日本後紀の発表⑩
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第14回】　日本後紀の発表⑪
・漢文の読解、平安時代史の習得
【第15回】　期末レポート提出・添削、史料輪読
・日本古代史のレポートを書く練習をする